

18日、伝統の提灯行列

県立延岡高等学校(宮野原章史校長)は、25日に創立120周年を迎える。1800(明治32)年に開校した、県北で最も古い高校。同校同窓会(池上武博会長)は18日、旧制延岡中学校時代の名物行事だった提灯(ちょうちん)行列を10年ぶりに行う。在校生全員、保護者、教職員、卒業生、来賓で校庭から市役所まで歩く。一般も含め多くの人に参加を呼び掛けている。

絆深める伝統行事



池上武博・延岡高校同窓会会長

県立延岡高等学校は、延岡中学校として1899年に創立され、120周年を迎えることになりました。18日に提灯行列を10年ぶりに開催し、翌日には同窓会の懇親会である「第65回同窓会」を行います。会長として、期目最初の事業となり、120年の歴史の重みを感じるといいます。

提灯行列は在校生、教職員、保護者、市内外の卒業生が集まり、総勢1500人の参加を予定しています。在校生も卒業生が改めて延岡高校の伝統に触れ、愛校心を高め、延岡高校の在り方に開眼し、翌日には同窓会の懇親会である「第65回同窓会」を行います。高橋は、同窓会では、元総務部の皆さんが当時を語り、つづらぎを繋いでいきたいと思います。市役所に到着後は、それぞれ同窓会が予定されているので、町に繰り出し、大いに盛り上がり思われます。

多くの希望の声を受けて



中島 司人・延岡高校創立120周年記念行事「提灯行列」実行委員長

提灯行列には100周年から参加し、今回で3回目になります。35歳の時に同窓会実行委員として参加して以来、同窓会

からも一延岡高校の思い出として在校生に参加させたこと、学校行事として位置付けていたが、準備も受け付けて積極的に参加を促してきています。記念として、提灯のほかにタオルも用意しました。提灯は安全面に配慮して、初めてLEDライトを採用し、タオルはスクールカラーのえんじに、旧制延岡中、延岡高女、延岡高の3校の校章や「創立120周年記念」の文字などを染め抜きました。

継承と進化を担う



宮野原章史・延岡高校校長

学生時代は母校で校長を務めるとは想像もしていませんでした。こんな大きな節目の時期に居合わせるなんておどろきのこと。120周年は、ひととき感慨深いものがあります。

本校では今年、110周年時と同様に在校生から1次の周年に向けたスローガンを募集しました。寄せられたなかから選定した「巻起り風」を、110周年のシンボルとして使います。120周年の節目を機に、生徒には自分たちが伝統の継承と進化を担うという責任を大いに感じてもらえればと思っています。(延岡高30回卒、59歳)

巻起り風
延岡高等学校
創立120周年

制作中ののぼり
デザイン



1964年3月の卒業アルバムに掲載された正門。現在は北門になっている

旧制延岡中時代の提灯行列。安賀多橋付近



午後4時30分から出発式

寄付金を募集中

18日午後3時から延岡市古城町の延岡高校校庭で参加者を受け付け、提灯とタオルを進呈する。4時30分から出発式。5時出発。コースは校庭→愛宕山大通り→折ノカオ眼科前通り→折ノおがわ饅頭(まんじゅう)左折→大瀬橋→延岡市役所。ただし在校生は、大瀬川堤防まで折り返す。

参加者は総勢1500人を予定。市役所に到着は7時ごろ。出発時のろしを、到着時に花を打ち上げ、酒を振る舞う。雨天中止。問い合わせ先は同窓会事務局(宮延岡33-3170)。

120周年記念行事のための寄付を同窓生に呼び掛けている。

【振込先】口座：宮崎銀行延岡営業部普通預金3433500100口座名義：一般社団法人宮崎県立延岡高等学校同窓会